

ガス給湯器

633-1150/1151型

633-1152/1153型

633-1154型

型式名

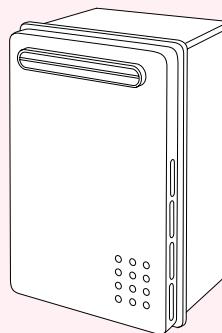
GQ-1621WZ-2

GQ-1620WZD-F-2

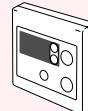
GQ-2421WZ-2

GQ-2420WZD-F-2

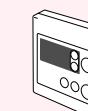
GQ-2421WZ-HP-2



(633-1152型)



(メインリモコン)



(浴室リモコン)

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して) 大阪ガスにご連絡ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています

取扱説明書

99大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8977



SAQ8977 T

もくじ

もくじ	2
必ずお守りください(安全上の注意)	3
各部のなまえとはたらき(機器本体)	9
初めてお使いになるときは	11

リモコンをお使いの場合

使いかた	
各部のなまえとはたらき(リモコン)	12
メインリモコン / 操作部	12
浴室リモコン	13
時計を合わせる・時計を表示させる	14
リモコン操作音を消す(鳴らす)	15
お湯を出す/お湯の温度を調節する	16
おふろのお湯はりをする	18
浴室からメインリモコンのブザーを鳴らす	20

リモコンがない場合

使いかた	
お湯を出す/お湯の温度を調節する	21
凍結による破損を予防する	22
日常の点検・お手入れのしかた	24
故障・異常かな?と思ったら	27
アフターサービスについて	32
主な仕様	33

必ずお守りください(安全上の注意)1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

△ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

△ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示



△ 危険

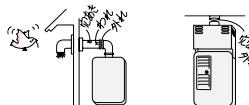


ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 【屋内設置形の場合】
窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの大坂ガスに連絡する



【屋内設置形の場合】
排気筒・排気ダクトが外れたり、穴があいたり、つまつた状態で使用しない

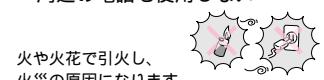


排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



ガス漏れ時は、絶対に

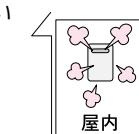
- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



火や火花で引火し、
火災の原因になります。



【屋外設置形の場合】
屋内に設置しない



一酸化炭素中毒の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)2

(つづき)



【633-1154型の場合】

閉め切った部屋で長時間使用せず、換気に注意する

使用中は、部屋の換気口・吸気口は常に開けて物などでふさがないでください。
不完全燃焼の原因になります。



異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 【リモコンがある場合】運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大坂ガスに連絡する

火災・電気・故障などの予防のため。



シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



やけど予防のため。



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」しない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。



子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない
思わぬ事故の原因になります。



必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大坂ガスに連絡してください。



機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

安全に使用していただくため。



修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。



燃えやすい物をまわりに置かない

(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

(つづく)

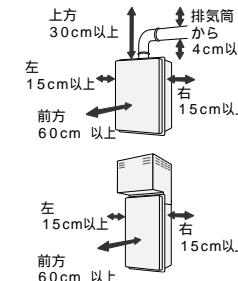
(つづき)



燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)



【屋外設置形の場合】



印はアフターサービス上の寸法です。

火災予防のため。



【屋内設置形の場合】

屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



【屋内設置形の場合】
給気口にゴミがつまっている場合は取り除く



不完全燃焼の原因になります。



スプレー缶を機器本体や排気口・排気筒トップのまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。



増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



【633-1154型の場合】

排気筒により単独で屋外へ排気するような設置はしない

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

機器一台あたり $1220 \text{ m}^3/\text{h}$ の必要排気量が確保できる排気ダクトに接続する



【633-1154型の場合】
排気ダクトの排気ファンが停止しているときは使用しない

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

5

必ずお守りください(安全上の注意)3

△注意

 必ずアースする
機器が故障した場合、感電の原因になります。

 電源プラグはぬれた手でさわらない

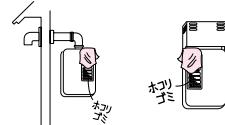
 感電の原因になります。

 電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、発火の原因になります。

 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えるたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。
感電、ショート、火災の原因になります。

 【屋内設置形の場合】
機器の近くでアースブレーやスプレー洗剤は使用しない
故障の原因になります。

 【屋内設置形の場合】
給気フィルターがゴミなどでふさがっている場合は取り除く



不完全燃焼の原因になります。

 機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合は、運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。
機器の使用直後は機器内のお湯が高温になっています。

 電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜くコード

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

 給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

 太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

 使用中や使用後しばらくは、排気口排気筒トップ・排気ダクト付近に触れない



やけど予防のため。

 乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

 雷が発生はじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグをコンセントに差し込み、現在時刻を合わせてください。
ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)



冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

機器や配管に長時間たまつた水や、朝一番のお湯は飲まない

雑用水として使用してください。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水または温泉水を使わない
水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する
時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

埠などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

埠などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大坂ガスに確認してください)

リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない
変形する場合があります。

メインリモコン・サブリモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴室リモコン・浴室サブリモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する
湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

凍結による破損を予防する(☞P22,23)
暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする
(☞P23)
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口・排気筒トップの点検、除雪をする
雪により給気口、排気口・排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)4

(つづき)

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはつたりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

【屋内設置形の場合】

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

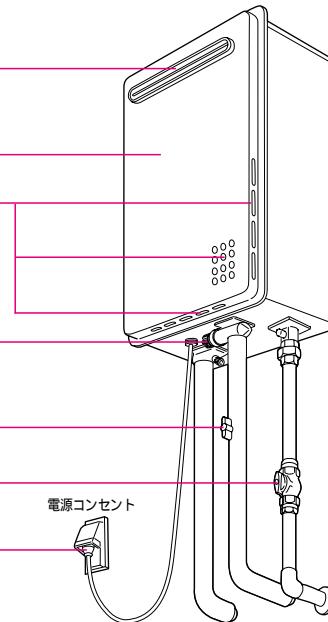
各部のなまえとはたらき(機器本体)1

【屋外設置形】

633-1150型, 633-1152型

- 排気口
燃焼した排気ガスを出します。
- フロントカバー
- 給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。
- 水抜き栓
(フィルター付) [☞P25]

- 給水栓
- ガス栓
- 電源プラグ

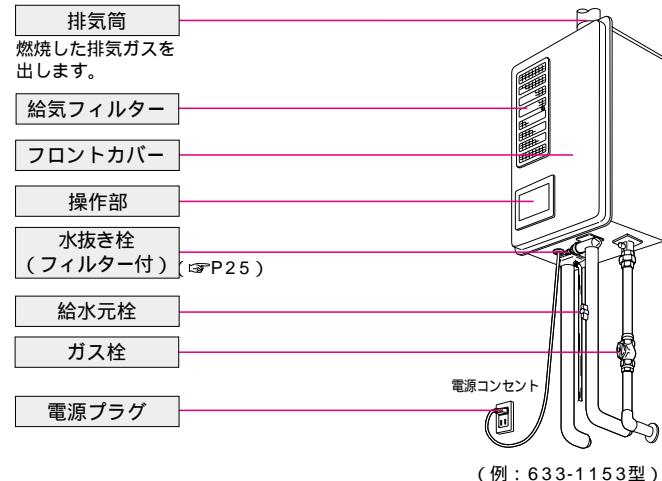


(例: 633-1152型)

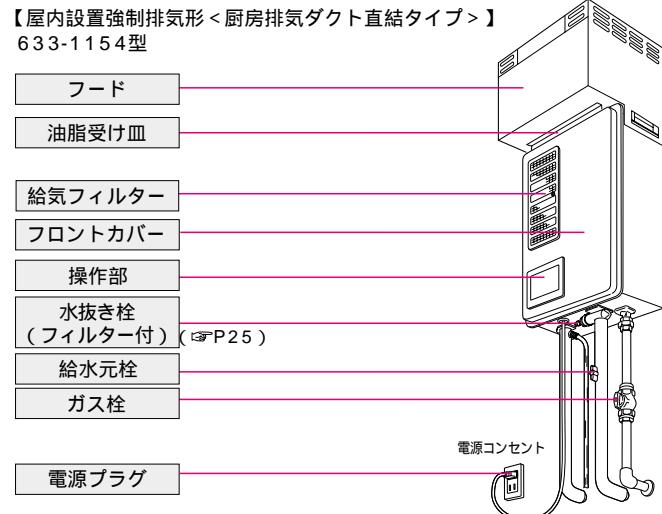
上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)2

【屋内設置強制排気形】
633-1151型, 633-1153型



【屋内設置強制排気形 <厨房排気ダクト直結タイプ>】
633-1154型



上のイラストは施工例です。

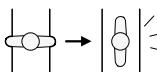
配管の形状・給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

初めてお使いになるときは

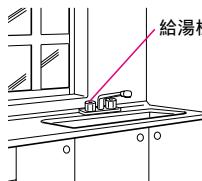
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1 ~ 4 の手順でおこなってください。

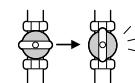
1 給水元栓を全開にする。



2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。

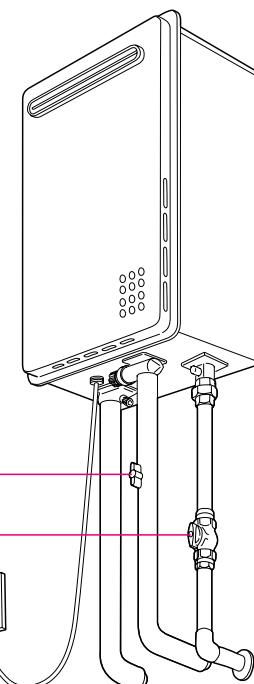


3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。

ぬれた手でさわらない



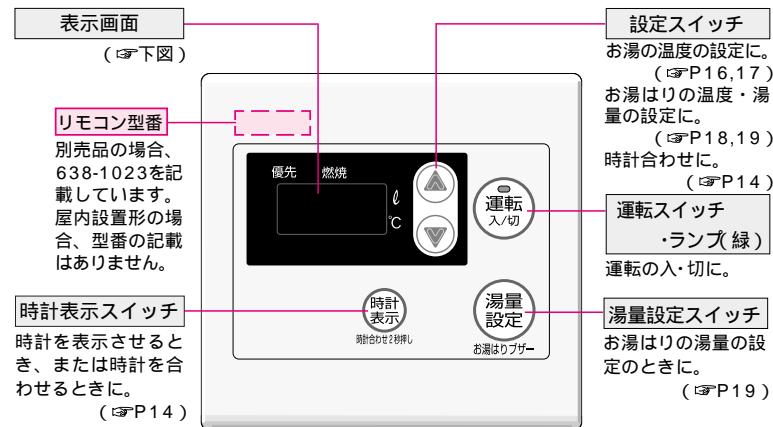
(例: 633-1152型)

使いかた

各部のなまえとはたらき(リモコン)

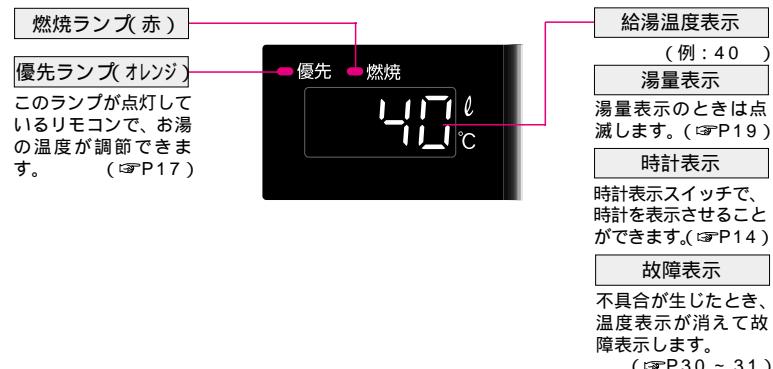
メインリモコン(操作部)<別売品/付属品>

(台所などに取り付けます) 屋内設置形の場合は機器に組み付けられています)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。

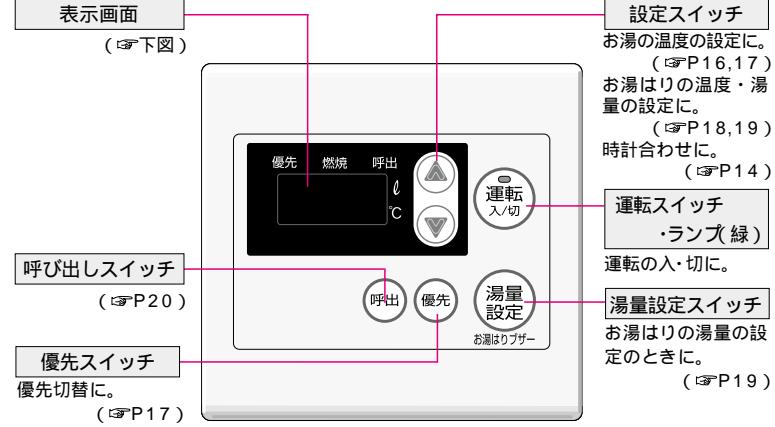


ご使用になる前に、リモコンの表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

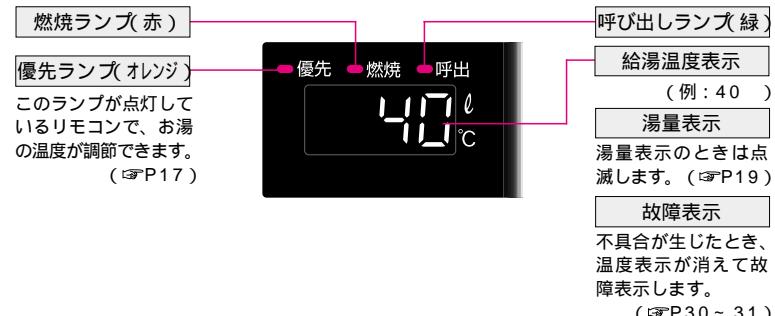
浴室リモコン(138-0043型)<別売品>

(浴室などに取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。

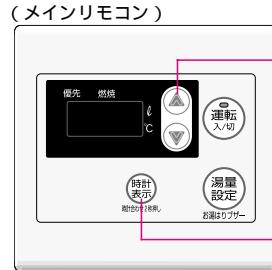


ご使用になる前に、リモコンの表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

使いかた

時計を合わせる・時計を表示させる



2

運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計表示ができます。
(イラストは「切」の状態です)

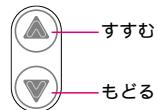
1,3

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを押す
(“0:00”が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例：“午前10時15分”的とき

3 時計表示スイッチを押す
(時計表示2秒)



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。(約10秒間表示)



ここのみ点滅

時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、表示が消えます。



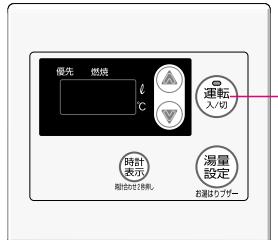
時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
お湯の使用中や、60℃, 75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押すと、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると“0:00”に表示が変わりますので、時計を合わせなおしてください。

使いかた

リモコン操作音を消す(鳴らす)

各リモコンで個別に設定できますが、ここではメインリモコンでご説明します

(メインリモコン)



リモコンの各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という操作音が鳴ります。

好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

運転スイッチ「切」の状態で運転スイッチを約5秒間押す

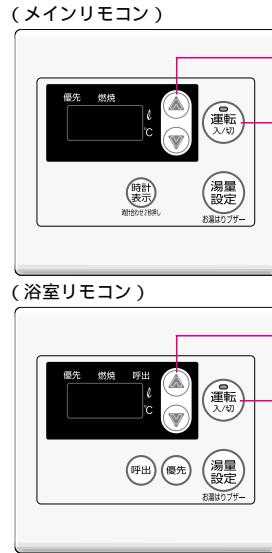


操作音を鳴らす設定にしたときは、約5秒後に「ピッ」と音がします。
操作音を消すときは、音はしません。

呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作音を消しても鳴ります。

使いかた

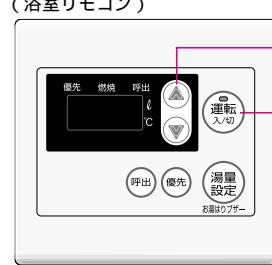
お湯を出す/お湯の温度を調節する



ここではメインリモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを
「入」にする



警告



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

禁止

*高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。



シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

* 60, 75 の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。

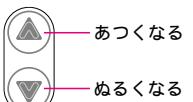
* 60, 75 に設定したときは、温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して、高温が出ることをお知らせします。



<メインリモコン表示画面例>

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで
給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



点灯確認



3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯



4 使用後は
給湯栓を閉める



消灯



お湯の温度の目安

(自安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど	シャワー、給湯など	給湯など				高温									

低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合その温度にならないことがあります。

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度の約10 アップに設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転を切り、再使用する場合、前回の設定温度が75 のときは、安全のため60 になります。

温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>

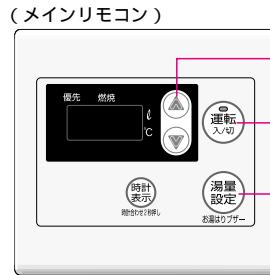
(メインリモコン・浴室リモコンの両方がある場合)

(設定温度は例です)

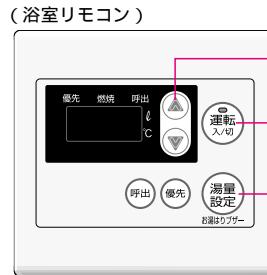
	湯温調節できない状態	優先切替する	湯温調節できる状態
浴室リモコン	点灯していない 優先 燃焼 呼出 40°C	優先スイッチを押す 優先	点灯 優先 燃焼 呼出 40°C
メインリモコン	点灯していない 運転スイッチを「切(消灯)」にして 再度「入(点灯)」にする 運転スイッチ 40°C	運転スイッチを 「切(消灯)」にして 消灯 運転スイッチ 40°C	点灯 優先 燃焼 40°C

運転が停止しますので、ご注意ください。

使いかた おふろのお湯はりをする

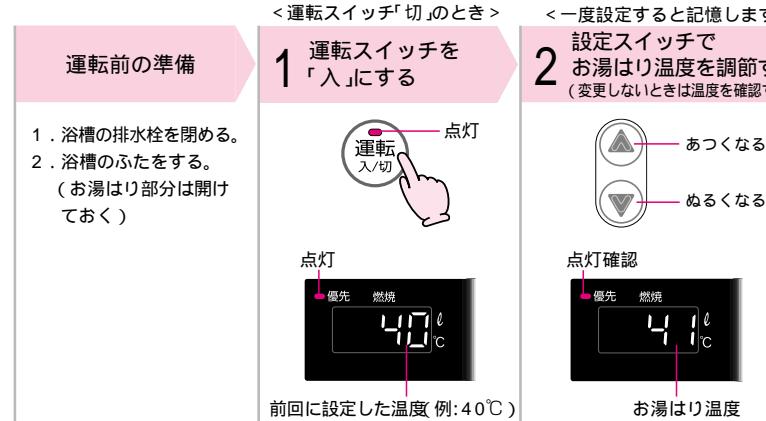


2,3
1
3



2,3
1
3

ここではメインリモコンでご説明します



警告

優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします



浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中にメインリモコン側に優先を切り替えると、おふろもメインリモコンの給湯温度でお湯はりします。
メインリモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

浴室リモコン・メインリモコンのどちらに優先があっても関係なく、湯量の設定ができます。
お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、設定したお湯はり温度のお湯が噴出します。
残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
お湯はりをしていなくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

浴槽にお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときに、お湯はりブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。

(お湯は自動的には止まりません)



お湯はり温度の目安

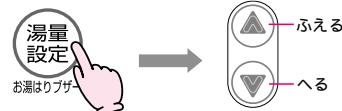
(目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ	ふつう	あつめ				初期設定(工場出荷時)=40					

<一度設定すると記憶します>

3 お湯はり湯量を調節する(変更しないときは湯量を確認する)
連結設置時は調節できません

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅) 設定スイッチで調節する。



変更したお湯はり湯量 点滅(例:180L)

* 点滅中に調節できます。

* 10秒後、温度表示に変わります。

* 40~260(20Lきざみ)・300・350・400・990Lの値で調節できます。(目安の量)

初期設定(工場出荷時)の990Lの場合、ブザーは鳴りません。

4 給湯栓を開ける



サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら
給湯栓を閉めて
お湯はり終了

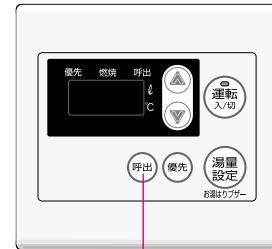
ブザー(ピッピッ音)が鳴ったら
お湯を止めてください。



使いかた

浴室からメインリモコンのブザーを鳴らす (浴室リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



呼び出しスイッチを押す

ブザーで呼び出します。



押し続けると、手を離すまでブザーをくりかえします。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用できます。

使いかた(リモコンがない場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60°Cの高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

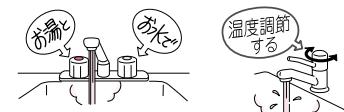
1 電源プラグをコンセントに差し込んでいるか確認する



2 給湯栓を開ける



3 水栓で給湯温度を調節する



4 使用後は給湯栓を閉める



通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。

食器洗浄機との接続などで、給湯温度を75℃に固定したい場合は、販売店または、もよりの大坂ガスにご相談ください。
なお、給湯温度75℃固定で、他の水栓を使用する場合は、やけど予防のためサーモ付混合水栓を使用してください。



やけど予防のために



シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

高温注意



凍結による破損を予防する

お願い

* 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

* 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。

(<リモコンがある場合> 運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します。)

* 給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

<リモコンがある場合> 冷え込みが厳しいときは、さらに以下の処置をする。

(外気温が極端に低くなる日(-15度以下)や、それ以上の気温でも風のある日)

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「入」にし、運転ランプの点灯を確認する。

2. ガス栓を閉める。

3. 給湯栓を開けて1分以上(簡単2連結設置の場合は2分以上)そのままにし、表示画面に「/ /」または「F / /」が点滅したことを確認する。

4. 給湯栓をしぼって、少量の水(1分間に約400cc…太さ約4mm)を流しながらにしておく。

サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定する。

簡単2連結設置の場合は、上記水量×2台分の水を流す。

5. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。



* サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

* この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

<リモコンがある場合> 凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。

2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。

3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。

4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きをしてください。

△注意



お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が約700cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 <リモコンがある場合> 運転スイッチを「入」にし、運転ランプの点灯を確認する。

<リモコンがない場合> 電源プラグがコンセントに差し込んであることを確認する。

2 ガス栓を閉める。



3 給湯栓を開けて1分以上そのままにし、給湯栓を閉める。 給湯栓



簡単2連結設置の場合は、2分以上

<リモコンがある場合>

表示画面に「/ /」または「F / /」が点滅しますが、異常ではありません。

4 給水元栓を閉める。



5 <リモコンがある場合>

運転スイッチ「入」のままで、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

<リモコンがない場合>

電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらない

6 すべての給湯栓を全開にする。 給湯栓



7 <633-1150/1152/1154型の場合>

水抜き栓z x を左に回して開け、外す。

<633-1151/1153型の場合>

q 水抜き栓z の[A]部をゆるめて水を抜く。

w 水抜き栓x をゆるめて水を抜く。

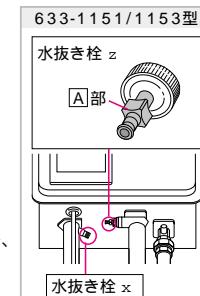
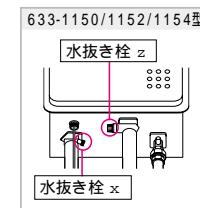
e 水抜き栓z の[A]部と水抜き栓x を回して外す。

8 7の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、

水抜き栓z (633-1151/1153型の場合は[A]部)と

水抜き栓x 、およびすべての給湯栓を閉める。

水抜き栓を開ける前に必ず電源プラグを抜いてください。



再使用のとき

1. 水抜き栓z (633-1151/1153型の場合は[A]部)と水抜き栓x が閉まっていることを確認する。

2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。

3. P11「初めてお使いになるときは」の手順1~4にしたがってください。

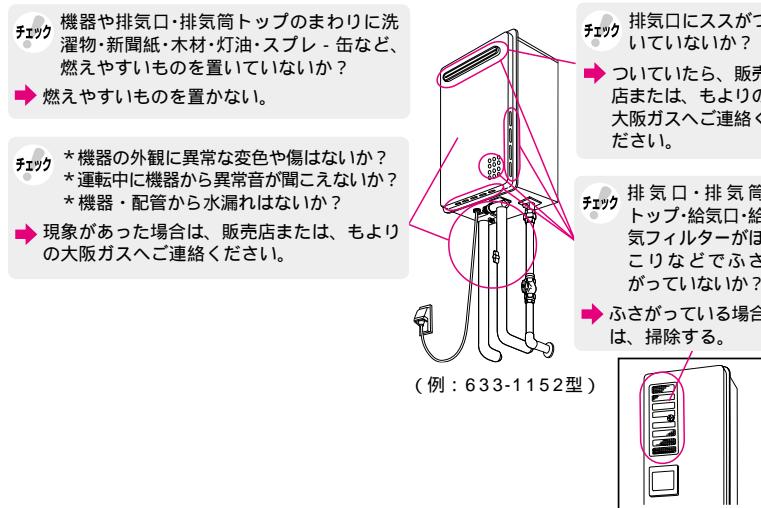
日常の点検・お手入れのしかた-1

△注意



点検・お手入れは、リモコンの運転スイッチを「切」または電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

点検(定期的に)



お手入れ(定期的に)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。

浴室リモコン・浴室サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(メインリモコン(操作部)・サブリモコンは防水タイプではありません。)

水抜き栓のフィルター

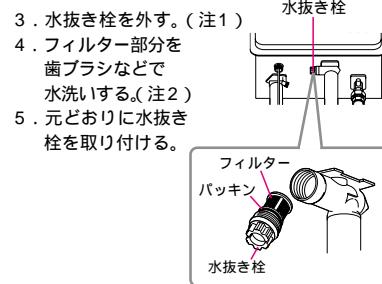
水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチを「切」または電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水栓を開める。
2. すべての給湯栓を開ける。

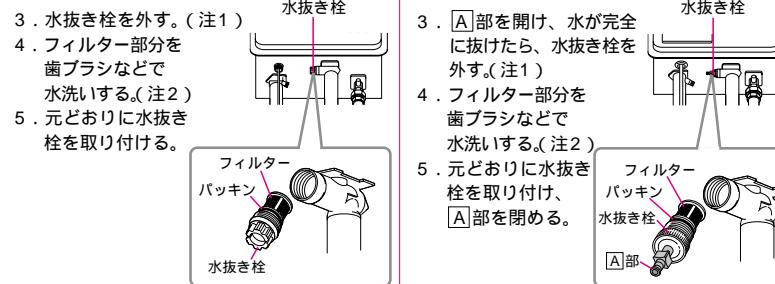
【633-1150型, 633-1152型, 633-1154型の場合】



(注1)にのとき水(湯)が outs.

(注2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

【633-1151型, 633-1153型の場合】

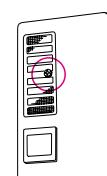


6. すべての給湯栓を開める。
7. 給水栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

給気フィルターの掃除(定期的に)

<屋内設置形の場合>

1. つまみを左に回す。
(つまみはフィルターから外れません)
2. 給気フィルターの右端を少し手前に浮かせながら右に引き出して外す。
3. 給気フィルターを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。
4. 水洗い後はよく乾燥させてから、逆の手順で取り付ける。



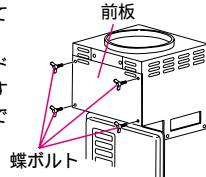
給気フィルターはベンジン・シンナ・ミガキ粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などかけたりしないでください。
故障の原因になりますので、給気フィルターを取り外したまま製品を使用したり、ぬれた給気フィルターを取り付けたりしないでください。

日常の点検・お手入れのしかた-2

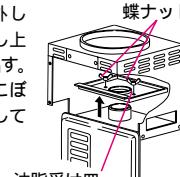
油脂受け皿の掃除（定期的に）

< 633-1154型の場合 >

1. 蝶ボルト(4個)を外して
フードの前板を外す。
(ボルトを外すとフード
の前板は下に落ちます
ので前板の下部を手で
持っていてください)



2. 蝶ナット(2個)を外し
て油脂受け皿を少し上
に持ち上げて取り出す。
(たまっている油がこぼ
れないように注意して
ください。)



3. 中性洗剤で洗う。油脂
受け皿に油がたまっ
ている場合は、中性洗剤
を含ませた布などで拭
き取ってください。



4. 掃除後はよく乾燥させてから、逆の手順で
取り付ける。

可燃性の溶剤、その他可燃性の掃除剤を使用しないでください。
ベンジン・シンナ・・みがき粉・スチールワールなどでふかないでください。
表面がキズつきます。
故障の原因になりますので、油脂受け皿を取り外したまま製品を使用しないでください。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、
年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いても お湯(水)が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ * 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？ (☞P25) * 凍結していませんか？ * 運転スイッチは「切」になっていませんか？ * 電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いても すぐお湯にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ * リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17) * 水温が高いときに、低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。 * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> * ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ * リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17) * 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
給湯栓を絞ると水になった	<ul style="list-style-type: none"> * 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
設定したお湯はり温度に ならない	<ul style="list-style-type: none"> * 前日など残り湯があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
リモコンで給湯温度の調節 ができない	<ul style="list-style-type: none"> * 操作しているリモコンに優先切替していますか？(☞P17)

故障・異常かな？と思ったら-2

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	* お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
【リモコンがある場合】 お湯はり量が 設定した湯量にならない	* お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少くなります。 * 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
【リモコンがある場合】 設定量までお湯はりしても お湯はりブザーが鳴らない	* お湯はりブザーは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サー付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	* 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0:00」になっている	* 停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「0:00」になりますので、時計を合わせなおしてください。(☞P14)
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	* 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わることがありますので設定しなおしてください。
湯量調節ができない (「990L」または「お湯はり ブザーは鳴りません」以外に 設定できない)	* 連結設置している場合は、お湯はり湯量の調節ができません。

「音」に関すること

運転を停止しても しばらくの間ファンの 回転音(ブーン)がする	* 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音(クックッ、クー)がする	

その他

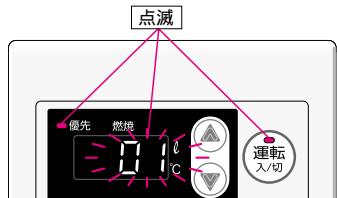
使用中に消火した	* ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ * 断水していませんか？ * 給湯栓は充分開いていますか？ * ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？
寒い日に排気口・排気筒 トップ・排気ダクトから湯 気が出る	* 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	* 水中に溶け込んでいる空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
機器の給湯側の水抜き栓 (過圧防止安全装置)から お湯(水)が少しの間出る ことがあります	* 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴があちこち出ることがあります。
浴槽や洗面台が青く変色した	* 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがあります。健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障・異常かな？と思ったら-3

<リモコン・操作部がある場合> 故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

例：メインリモコン



表示	原因	処置
11 F 11	点火エラーが生じたため 運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していないか、またはLPGガスがなくなっていないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。	
90 F 90	機器の燃焼に異常が生じているため 販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。	
99 F 99	機器の燃焼に異常が生じているため 販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。	

【633-1154型の場合】

15 F 15	排気ダクトのファンが止まっています 排気ダクトのファンを運転させ、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開き、表示が出なければ正常です。 それでも「15」を表示する場合は、ファンの能力が不足している可能性がありますので点検を受けてください。	
------------	--	--

【633-1151型、633-1153型、633-1154型の場合】

運転ランプのみ点滅 燃焼しない	給気フィルターの取り付け忘れの可能性があります 給気フィルターを取り付けてください。 給気フィルターを取り付けても表示する場合は、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。	
--------------------	---	--

(つづき)

【633-1154型の場合】

運転ランプのみ点滅 運転スイッチをいったん「切」にすると	給気フィルターがつまっているか、本体の燃焼に異常が生じています 90 F 90	給湯栓を閉めて、給気フィルターを掃除してください。(☞P25) それでも表示する場合は、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。
---------------------------------	---	---

【633-1150型、633-1152型の場合】

運転ランプのみ点滅 運転スイッチをいったん「切」にすると	本体の燃焼に異常が生じています 90 F 90	販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。
---------------------------------	-------------------------------	--------------------------

【633-1151型、633-1153型の場合】

13 F 13	燃焼上不具合 (一酸化炭素濃度)	【ブザーが鳴らないとき】 ・窓を開けて充分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・給気フィルターが汚れている時は給気フィルターを外して掃除してください。(☞P25) ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
------------	---------------------	---

38 (常に表示) F 38	COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)に異常が生じています。	【ブザーが鳴るとき】 (ブザーは運転スイッチを「切」にすれば止まります。) ・窓を開けて充分な換気をしてください。 ・製品などに異常があります。販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。
-------------------	--------------------------------	---

運転ランプのみ点滅 運転スイッチをいったん「切」にすると	COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)が耐用時間をこえています	そのまま放置しておくと、ブザーが鳴ったり使用できなくなったりします。販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。
---------------------------------	---------------------------------	--

以下の場合は、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください

- ・上記以外の表示（例：F 1など）が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P27~31の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型番 本体正面左に貼付の銘板をご覧ください。
お買い上げ日 保証書をご覧ください。
異常の状況 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

別添で保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間にについて

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。

但し、保有期間経過後であっても、補修用性能部品の在庫がある場合は有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大坂ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様-1

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。
- 但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

24号	
型番	633-1152型
型式名	GQ-2421WZ-2
給湯方式	先止め式
設置方式	屋外設置形
点火方式	放電点火式
使用水圧 kPa	98.1~98.1(1.0~10.0kgf/cm ²)
作動水圧 kPa	9.81(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 L/分	3.5
外形寸法 mm	高さ600×幅350×奥行247
質量(本体) kg	25
給湯	R3/4(20A)
給水	R3/4(20A)
径ガス	R1/2(15A)
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	62/62
関係	凍結予防ヒータ 141
待機時消費電力	運転スイッチ「入」約3.5W、「切」約3.0W <台所リモコン取付>
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置

24号	
型番	633-1153型
型式名	GQ-2420WZD-F-2
給湯方式	先止め式
設置方式	屋内設置形
点火方式	放電点火式
使用水圧 kPa	98.1~98.1(1.0~10.0kgf/cm ²)
作動水圧 kPa	9.81(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 L/分	3.5
外形寸法 mm	高さ640×幅350×奥行247
質量(本体) kg	27
給湯	R3/4(20A)
給水	R3/4(20A)
径ガス	R1/2(15A)
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	104/104
関係	64/64
待機時消費電力	凍結予防ヒータ 141
湯温制御方式	運転スイッチ「入」約7.0W、「切」約6.5W
安全装置	運転スイッチ「入」約3.5W、「切」約3.0W
	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置
	<633-1153型のみ>COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)
	<633-1154型のみ>排気温度センサー、排気あふれセンサー

主な仕様-2

16号	
型番	633-1150型
型式名	GQ-1621WZ-2
給湯方式	先止め式
設置方式	屋外設置形
点火方式	放電点火式
水使用水圧 kPa	98.1~981(1.0~10.0kgf/cm ²)
作動水圧 kPa	9.81(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 L/分	3.5
外形寸法 mm	高さ600×幅350×奥行200
質量(本体) kg	21
接続口 湯	R1/2(15A)
接続口 給水	R1/2(15A)
口径寸	R1/2(15A)
電源	AC100V(50/60Hz)
電気消費電力	43/43
関係(50/60Hz) W	凍結予防ヒータ 141
待機時消費電力	運転スイッチ「入」約3.5W、「切」約3.0W <台所リモコン取付>
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置

16号	
型番	633-1151型
型式名	GQ-1620WZD-F-2
給湯方式	先止め式
設置方式	屋内設置形
点火方式	放電点火式
水使用水圧 kPa	98.1~981(1.0~10.0kgf/cm ²)
作動水圧 kPa	9.81(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 L/分	3.5
外形寸法 mm	高さ640×幅350×奥行240
質量(本体) kg	22
接続口 湯	R1/2(15A)
接続口 給水	R1/2(15A)
口径寸	R1/2(15A)
電源	AC100V(50/60Hz)
電気消費電力	90/90
関係(50/60Hz) W	凍結予防ヒータ 141
待機時消費電力	運転スイッチ「入」約7.0W、「切」約6.5W
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置 COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

能 力 表

型番は仕様表を参照してください。

24号	型式名	GQ-2421WZ-2, GQ-2421WZ-HP-2, GQ-2420WZD-F-2		
使用ガス	1時間当たりのガス消費量(最大消費量) kW	出湯能力(最大時) L/分		
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス用	13A	52.3	24	15

16号	型式名	GQ-1621WZ-2, GQ-1620WZD-F-2		
使用ガス	1時間当たりのガス消費量(最大消費量) kW	出湯能力(最大時) L/分		
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス用	13A	34.9	16	10